2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
組織培養・免疫系分野	耳鼻咽喉・頭頸部・免疫形態学特論Ⅰ・Ⅲ	原 浩貴

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

（1）呼吸生理や咽頭喉頭を含む耳鼻咽喉・頭頸部外科疾患に関する最新の知見を得るために，英語論文の読解力を身につける。
（2）英語論文の構成を理解し，研究成果発表のための英語論文執筆に応用できる英語力を習得する。

授業到達目標

（1）内耳に関連する最新の知見を含む論文を，1 年間に 10 編以上読解し要約できる。
（2）咽頭・喉頭に関連する最新の知見を含む論文を，1 年間に 10 編以上読解し要約できる。
（3）内耳・咽頭・喉頭に関連する最新の知見を含む論文を 1 年間に 2 編以上要約し，考察を加えて発表できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎月	第 3 月	15:00-16:00	原 浩貴 福田 裕次郎	講義	[抄読会・ 症例検討会]	頭頸部癌放射線治療カンファレンス （耳鼻咽喉科・放射線治療科） [場所:15 階西カンファレンス室]
2	隔週	月	18:00-18:30	原 浩貴 假谷 伸	講義	[抄読会]	耳鼻咽喉科学の英文論文を紹介し，それに対する考察・討議を展開する。 [場所:本館 7 階 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1 年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1 年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1 年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※1～3 年生は 2 月末まで，4 年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

特になし

参考書

ISBN-0781719941, The larynx, Robert H. Ossoff, et al., Lippincott Williams & Wilkins, 2003

準備学習（予習・復習等）

（1）講義ごとに紹介する文献および論文を，次回講義までに読んでおく。
（2）紹介された論文の要約を作成する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。

注意事項・メッセージ

代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。